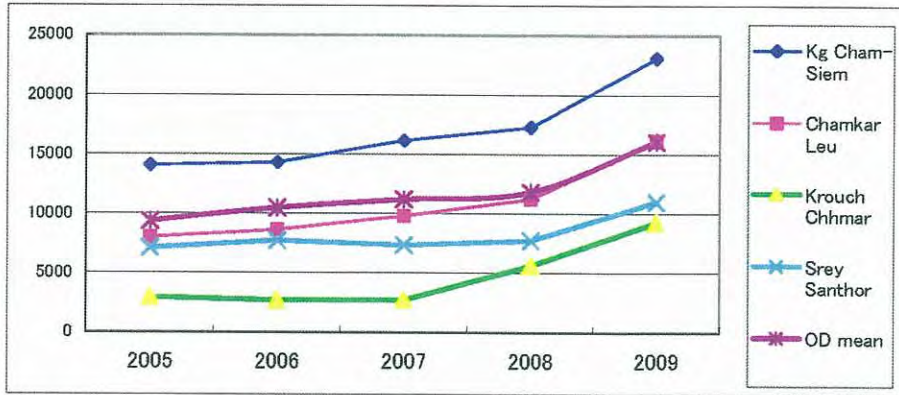
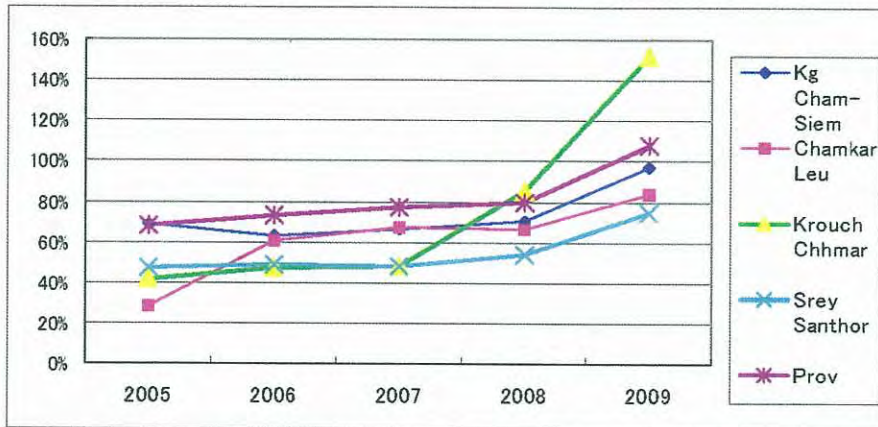


図 2-6-1. モデルサイト 産前健診提供総数の変化



OD mean : 1 OD あたりの平均値 Kg Cham 州全体の産前健診提供総数を 10 で割った数

図 2-6-2. モデルサイト 産前健診 最低 1 回受診する妊婦の割合の変化



Prov: Kg Cham の州全体での割合

図 2-6-3. モデルサイト 産前健診 2 回受診する妊婦の割合の変化

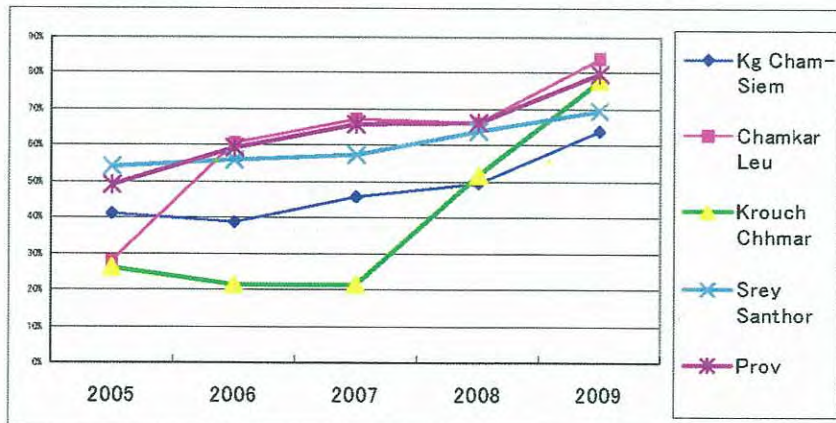


図 2-6-4. モデルサイト 一人当たり妊産婦健診受診回数の変化

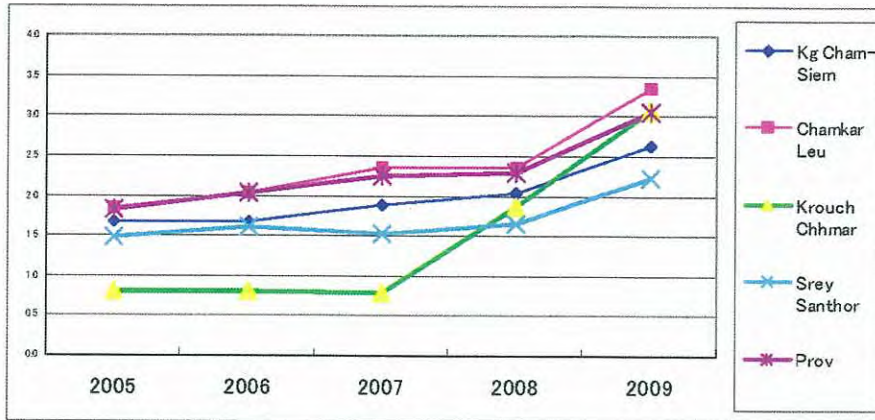
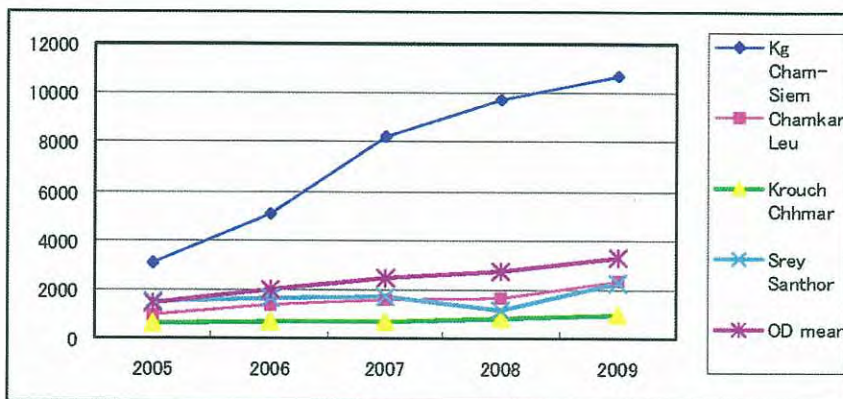
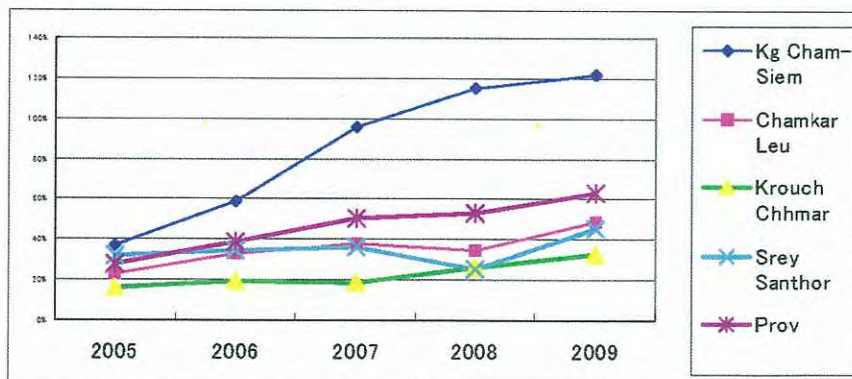


図 2-6-5. モデルサイト SBA による分娩数の変化



Kg Cham OD のデータには、プライベートセクターのデータが入っている。また、Kg Cham 州病院のデータも含まれていることから、異なる医療圏からの患者も含まれる。

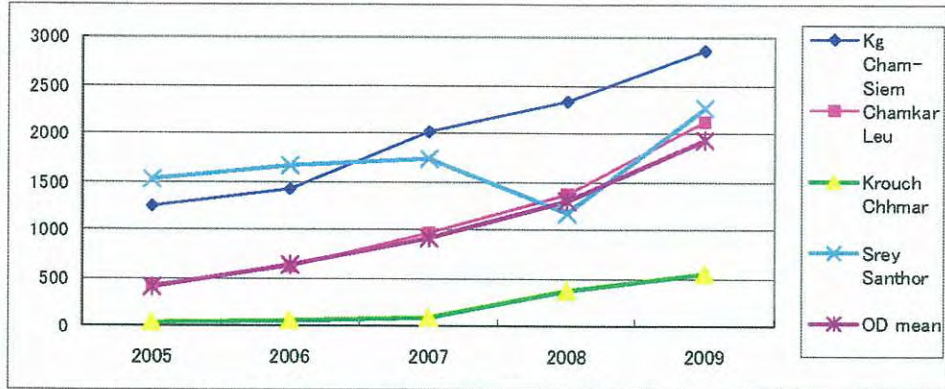
図 2-6-6. モデルサイト SBA による分娩割合の変化



(なお、Kg cham-Siem のデータには、大型のレファラル病院である Kg Cham レファラル病院の分娩数が含まれており、この行政区以外からの分娩数が登録されているために、見かけ上、SBA 分娩割合が上昇し

て見える。)

図 2-6-7. モデルサイト施設分娩数の変化



OD Mean : 1 OD あたりの平均値 (Kg Cham 州全体の施設分娩数を 10 で除したもの)

図 2-6-8. モデルサイト施設分娩率の変化

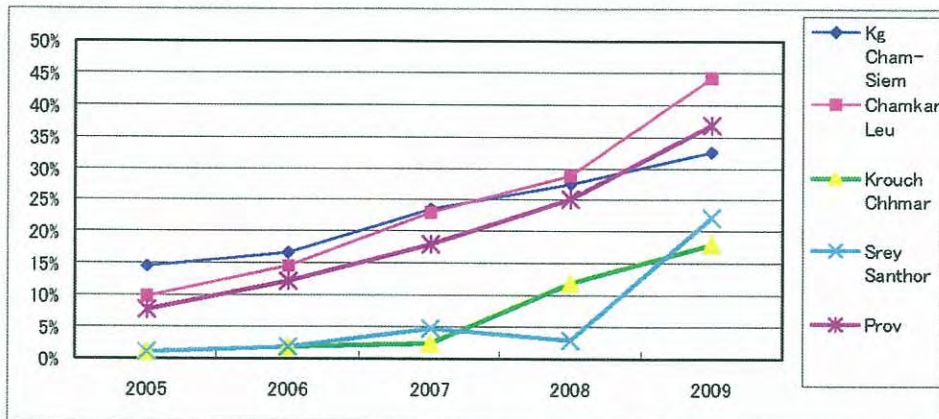
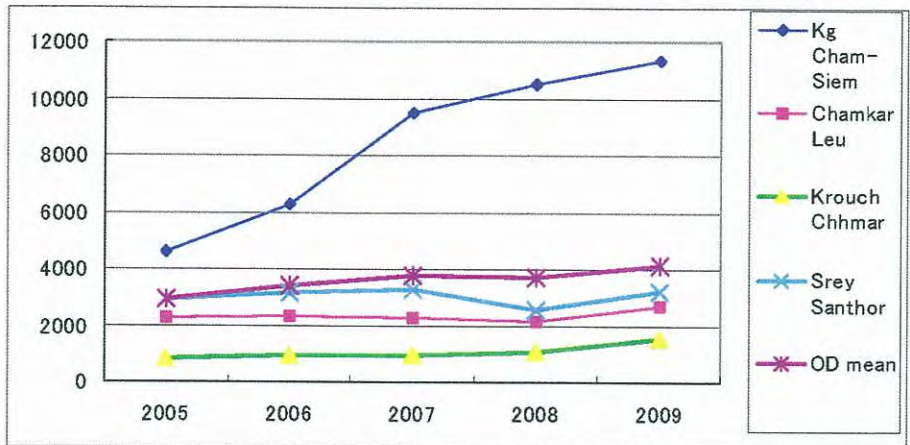


図 2-6-9. モデルサイト 登録された分娩数の変化



OD mean : 1 OD あたりの平均値 Kg Cham 州全体の登録分娩数を 10 で除したもの

図 2-6-10. モデルサイト 登録された分娩割合の変化

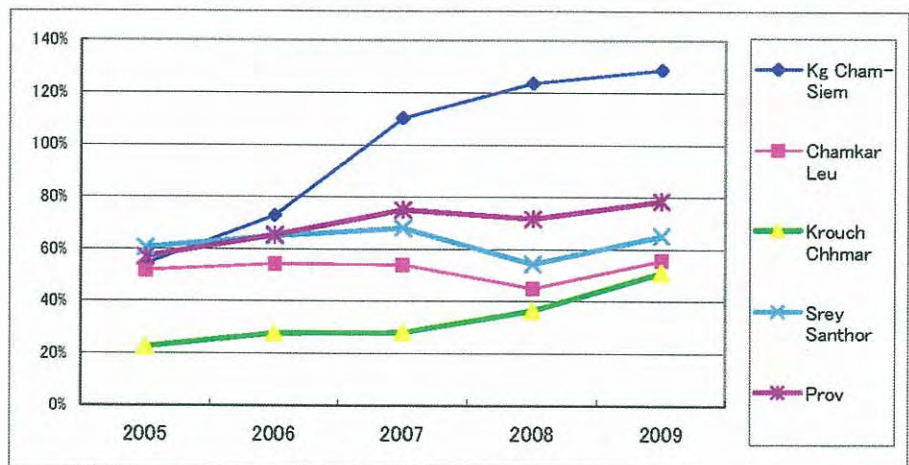


図 2-6-11. モデルサイト ワクチン BCG, OPV, DTP をすべて接種した児の割合の変化

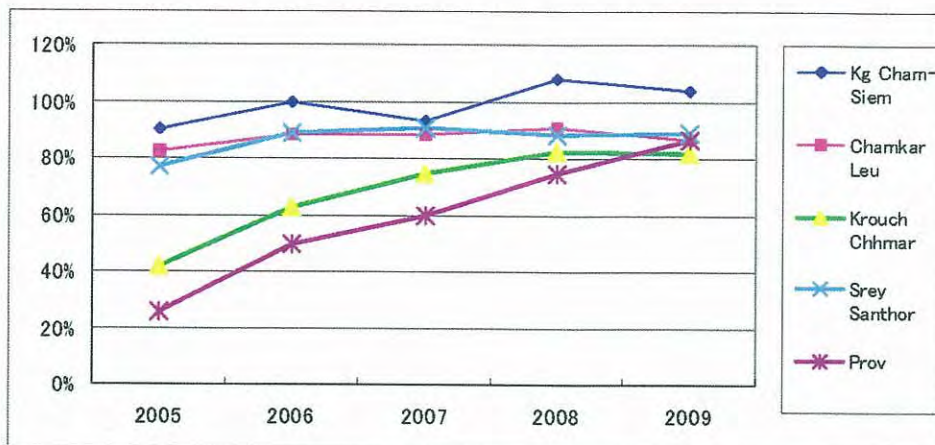
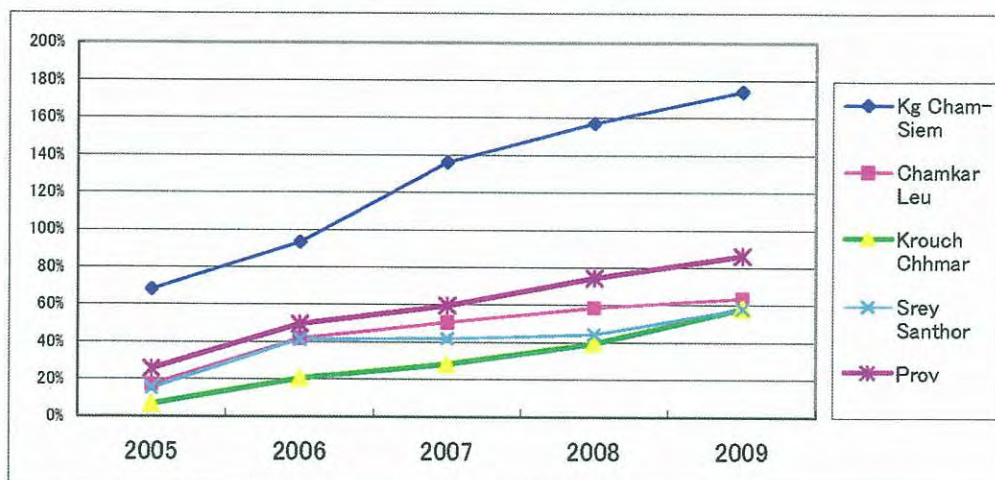
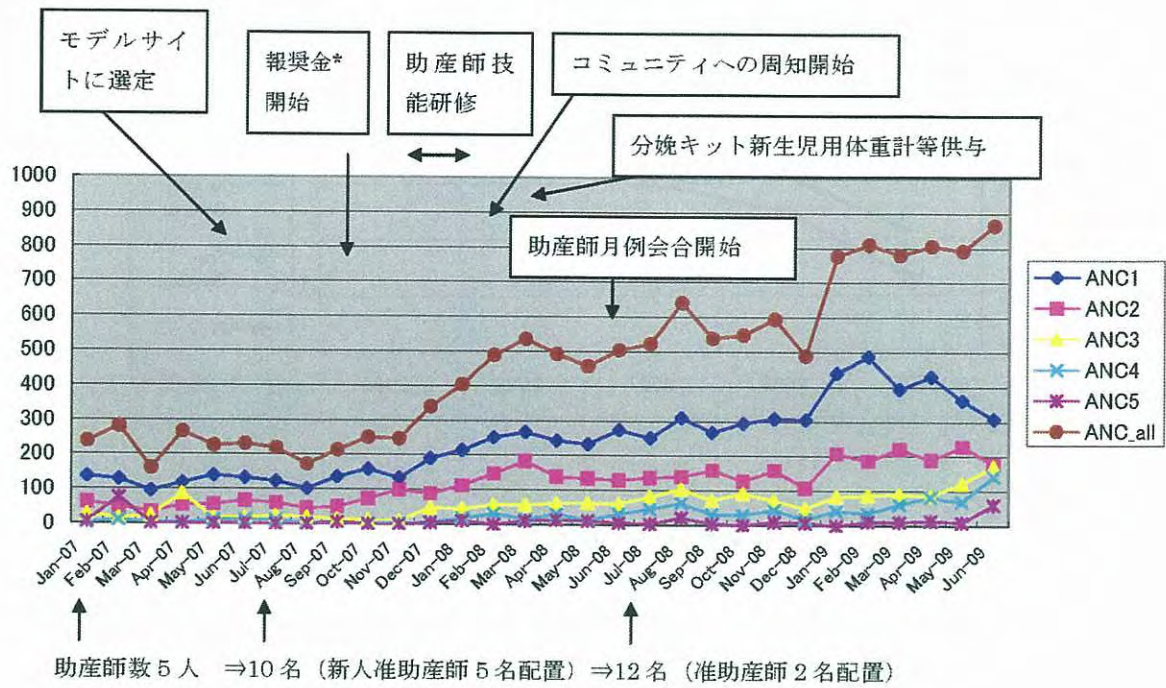


図 2-6-12. Hepatitis B 予防接種を接種した児の割合の変化



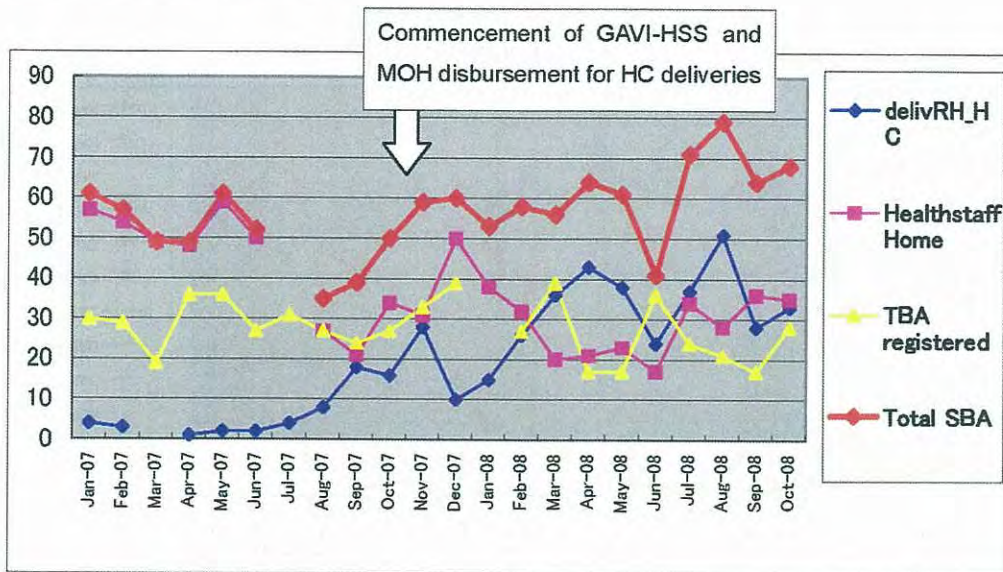
Kg Cham-Siem ODにおいては、複数の大型プライベート医療施設あり。分娩数が年間100を超える3つの施設のワクチン投与数が上記には含まれている。ワクチンについては、Public-private Mix というスキームにおいて、公的機関からワクチンをプライベート施設に配布し、登録を公的機関におこなうことが行われている。

図 2-7-1. クロチユマー行政区における妊産婦健診総数の月次変化



GAVI HSS 導入後、また新卒助産師 5 名の研修後に 妊産婦健診量の増加が見られる。

図 2-7-2. クロチュマー行政区における分娩数の月次変化



分娩報奨金が実際に支払われた12月以後、SBAが自宅で介助する分娩は、保健センターとレファラル病院での施設分娩にシフトしてきている。

図 2-7-3. クロチュマー行政区における産後健診数の月次変化

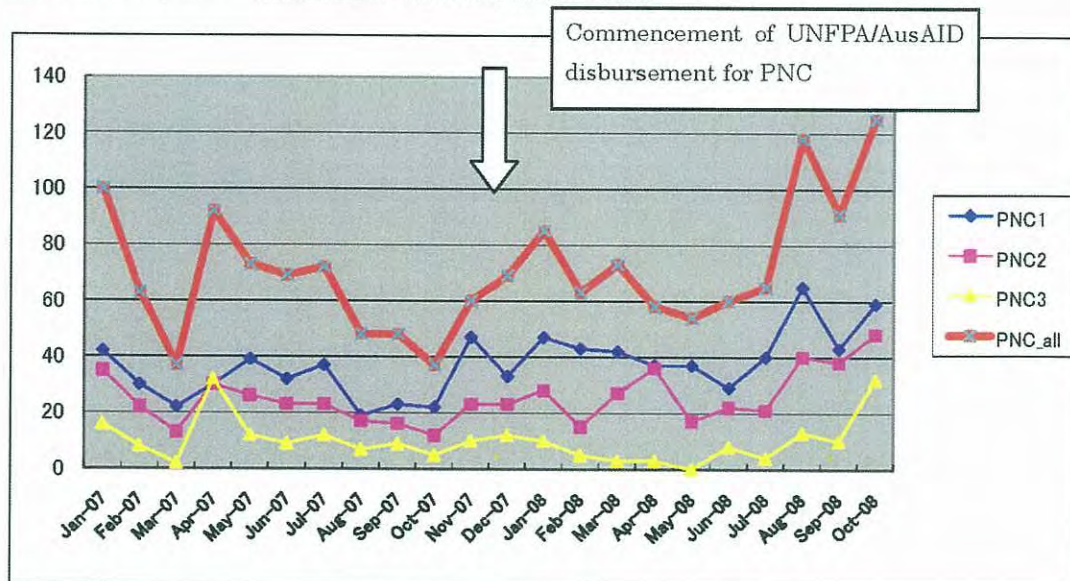


図 2-7-4. クロチユマー行政区における EPI 数の月次変化

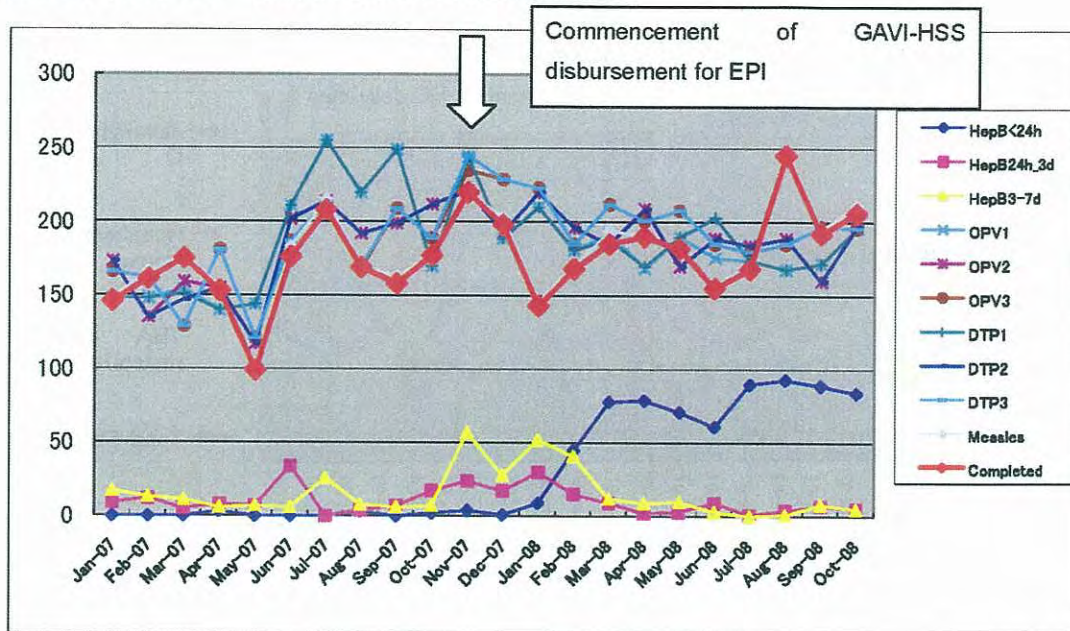


図 2-8. 4つのモデルサイトにおける分娩介助者ごとの分娩数 年次推移

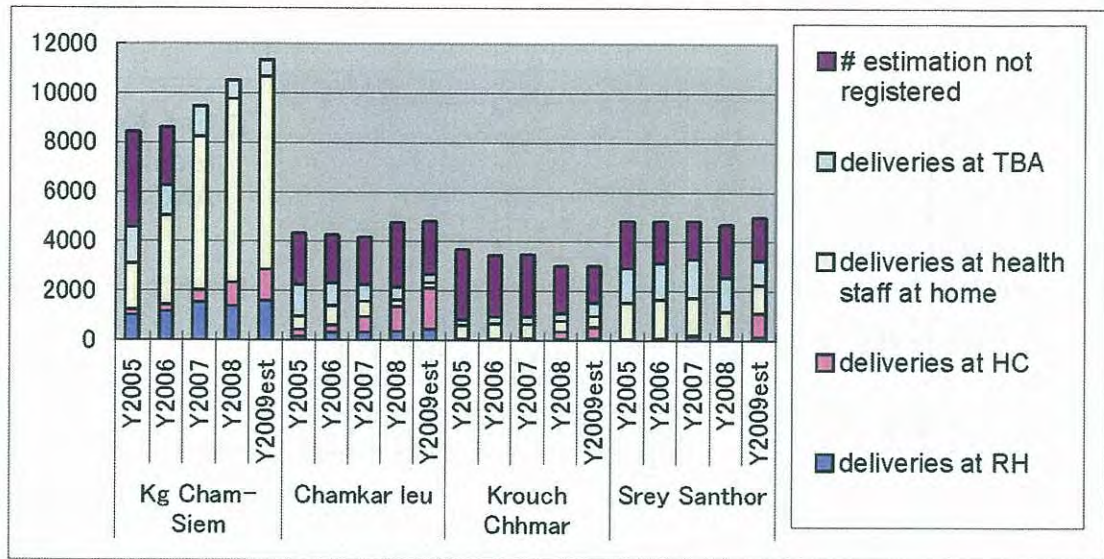


図 2-9. 州都以外の3つのモデルサイトにおける分娩介助者ごとの分娩数 年次推移

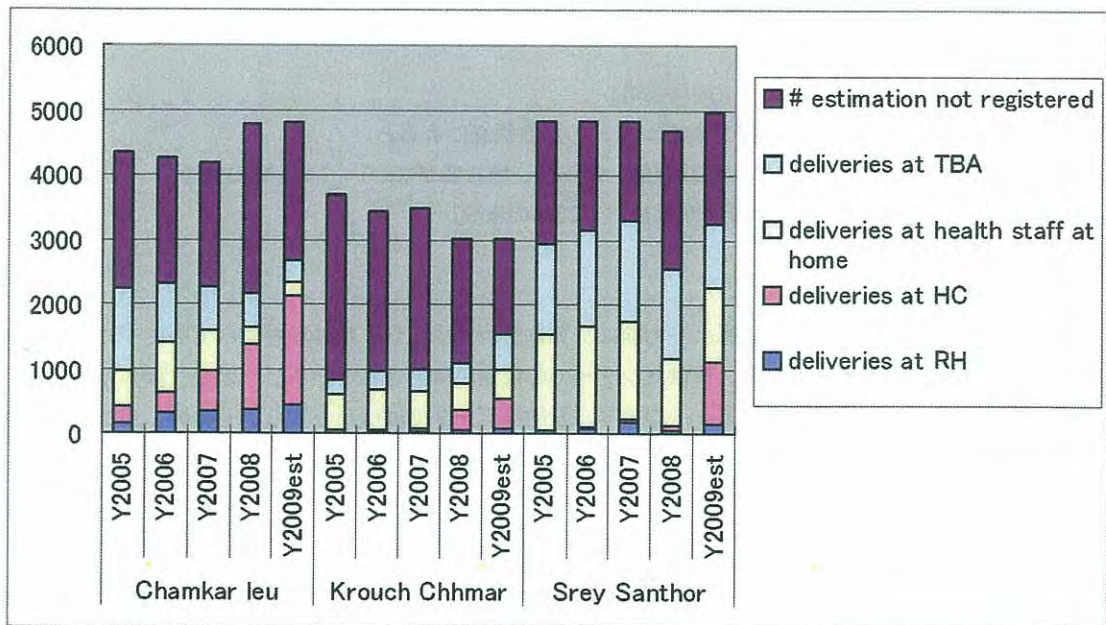
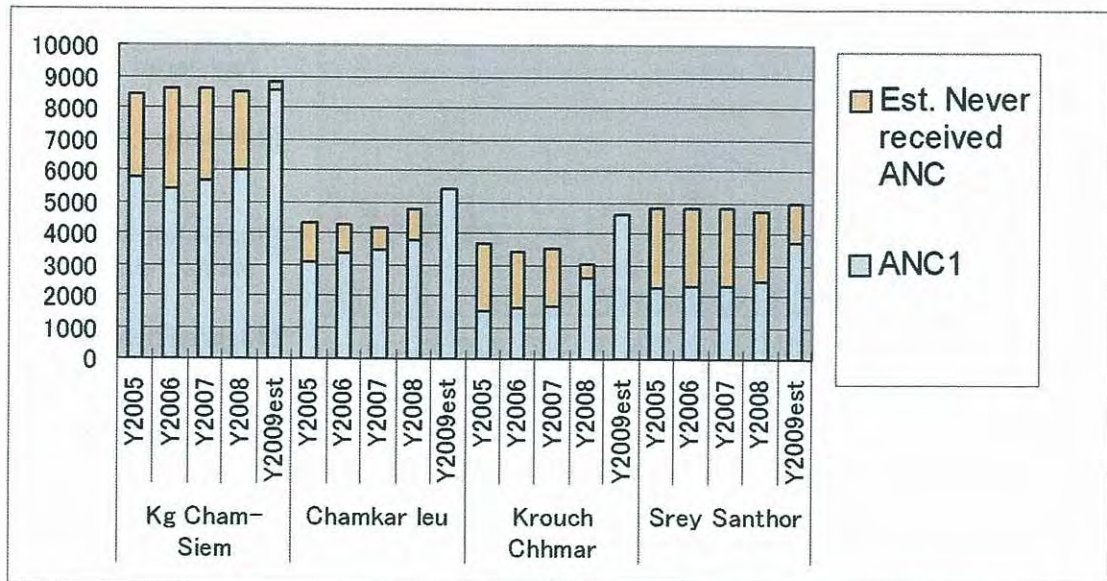


図 2-10. 4モデルサイトにおける ANC を最低一度受診者数と、一度も受診しないと推定される女性数
年次推移 (2005-2009)



他、サービスの質に関連する事項 (指標候補)

URC の調査 → 10 行政区の 78 保健センターの施設調査によると

- (妊産婦健診につかう) 大人用体重計、血圧計、聴診器がない (12%の施設)
- (分娩時につかう) 児の体重計がない (23%の施設)

という調査結果あり。

当プロジェクトでは、この調査結果よりも前に、児体重計、血圧計、聴診器をすべてのモデルサイト保健センター、病院に供与済みであり、保健センターでの使用が確認されている。かつ、大人用体重計も発注済、到着をまっている段階である。つまり、量的なデータでははかりづらいものの、当プロジェクトの供与機材は、産前健診、分娩時のサービスの質の向上にも寄与している。上記機材のない施設は、現段階では理論的には0%である。

ACCESS による分娩の質的調査あり (参考資料)

成果1. HCに配置されるSBA(HC-SBA)を支援するためのチームワークが向上する	2
成果2. HC-SBAの活動を円滑にするための保健行政(PHD/OD)および臨床機関(RH)による支援モデルを策定する	2
成果3. 地域コミュニティにおける母子保健向上のための協働モデルを策定する	3
成果4. NMCHCが地域の実情を把握し、国家プログラムに反映させる	3
広報促進活動等	9

【成果】

成果 1. HC に配置される SBA (HC-SBA) を支援するためのチームワークが向上する

1-1 作成された研修カリキュラムの数とそれに基づいて実施された研修の数が増加する（研修カリキュラムの数 0→2、研修の数 0→3）

MCT 研修 1 回

MAT 研修 2 回

1-2 MCT 研修^①により養成された助産師コーディネーターの数が増加する（0→12）

1-3 MAT 研修^②時に作成されたアクションプランの数が増加する（0→43）

櫻井専門家

成果 2. HC-SBA の活動を円滑にするための保健行政(PHD/OD)および臨床機関 (RH) による支援モデルを策定する

2-1 HC-SBA 支援アクションプランの実施数が増加する（0→4）

櫻井専門家の表あり

2-2 HC の SBA が認識する PHD/OD/RH からの支援内容・質が向上する

モデルサイトの保健センター助産師に対する電話調査あり ⇒別報告参照

Chamkar Leu 4 名、Kg Cham-Siem 4 名、Krouch Chhmar 3 名、Srei Santhor 3 名

2-3 PHD/OD によるチェックリストの活用状況が改善される

もともと OD レベルには integrate check list が存在するが、助産師に関連する部分でいえば、妊娠・出産に関連する質問項目が乏しい。（ANC と Birth spacing）が主。分娩についてはわずか 2 問のみ。

国立母子保健センターの臨床トレーナーが巡回指導時に使用していたチェックリストを 州以下で、母子保健行政官、レファラル病院 SBA が協力して使えるように改変済み。 SBA 支援ガイドラインに含める予定である。 ⇒櫻井専門家

2-4 モデル・サイトにおける支援モデル事例をもとに、全国を対象とした SBA 支援ガイドラインが作成される

現在策定中。コンテンツあり。

指標候補

- モデルサイト → 2007年7月に8名が新規に配置となった。これまでのところ、新卒助産師は地域で母子保健サービスを提供しており、新卒助産師の離職がない（他地域では、サービスを提供せず、離職あり、と聞いている。が、実際にコントロール地区との比較はしていない。）
- モデルサイト： 「助産師がいない保健センター数」の減少 ⇒ 現在 2OD データあり、2OD はデータまち

成果3. 地域コミュニティにおける母子保健向上のための協働モデルを策定する

3.1 コミュニティ活動現状の調査・分析の結果、コミュニティ協働^fの促進・阻害要因が抽出される

3.2 ODのためのコミュニティ協働支援行動リストが作成される

⇒ 阿部専門家報告書 完了済み

3.3 ODによる新規のコミュニティ協働支援行動数が増加する（0→4）（4モデル・サイトに限定）

松岡専門家 調査報告あり

3.4 ODのためのコミュニティ協働支援行動ガイドラインが作成される

現在策定中

成果4. NMCHCが地域の実情を把握し、国家プログラムに反映させる

4.1 中央レベルの母子保健関係者（国立母子保健センター、開発パートナー側技術アドバイザー）に対するプロジェクトからの進捗・成果報告（地方における調査結果を含む）数が増加する（0→15）

- 当プロジェクトのC/Pが議長もしくは事務局となっている5つの作業部会兼ドナー調整会合に参加し、議長を側方支援し、技術的見地より助言を行った。

➤ 継続中 MCH sub TWG, High Level MW task force, RMNCH task force

➤ 終了 Post partum care task force, newborn care taskforce, CAC/PAC taskforce

- 特に MCH Sub-TWG 会合に対する進捗成果報告は 8 回 (情報やデータ、トピック提供に関して、当プロジェクトは中心的な役割を担っている。)

開催日	プレゼンテーション内容	Presenter	Reports and handouts distributed
1 22-May-07	Response to ACCESSPPH proposal Points that should be considered on "Community based self-administered MSPL use by women"	obara	Brief summary - Points should be considered
2 22-Jun-07	Project update 1. Progress report of May 2. Planned activities (June-July 07)	Handout distribution only	Project update
3 17-Aug-07	Project update 1. Results of the questionnaire survey; PHD & OD MCH staff 2. Analysis of community collaboration 3. Distribution - Khmer summary JICA development study final report	obara	Brief report- questionnaire survey MCH officers Community collaboration report Development study report Khmer
4 24-Jan-08	Report about SBA incentives A Proposal - Fact finding visit on the SBA incentive Three category of birth attendants in Cambodia Results- knowledge and skill level of non health staff (Results of Dr Ishihara's survey)		Brief report - Knowledge and skill level of non-health staff
5 28Mar 2008	Project update Who can be the supporter for HC MW? 1. Outline of planned training courses (pilot) 2. Sharing experience- Midwifery Congress on MCH at Province level 3. Dr Nagaf's recommendations (Long-term Expert on Community Health)	obara	Project update Dr Nagaf's report
6 11 July 08	Project update 1. Sharing experience- MAT training course (Midwife Alliance Team training) 2. Report- EmOC equipment provision 3. Brief report- What is happening MCH and continuum of care in a OD under the GAVI HSS ?	Dr Keth Ly Sotha & Obara	Presentation handout
7 30-Apr-09	Project update 1. To share resources about swine flu "Pandemic influenza alert phase 5" 2. Planned Project Interventions -Orientation workshop for health managers on MCH -Midwife Coordinator and Alliance Team training (MCAT course) 3. Performance-based financing of maternal and child health services: Financial and behavioral impacts at the field level in Kompong Cham Province	obara	WHO documents on Swine flu Project update Performance based incentive report
8 14-Jul-09	Project Update: Improving midwife supporting activities by health system strengthening approach	Handout distribution only	Project update
その他、High level midwifery task force において multi year plan 作成支援、RMNCHTF において 保健省 Annual Health Congress 向けのプレゼンテーション策定、TWGH における GAVI プロポーザルに対して、視視となるフィールドデータ提供を行った			

- C/P から依頼され、8つの開発パートナーに対して、面会と情報提供を行った（運営指導調査時までで17回 現在20回以上） UNICEF, UNFPA, WHO, ACCESS, GAVI, URC など
- C/P や開発パートナーに依頼され、母子保健関連の報告書を作成、もしくは、ガイドラインや研修マニュアルへのコメント付けを行った。 コメント付けした報告書 9 報告書

その他: 援助団体と関連する業務: コメント付けや デザイン策定・情報提供への貢献等			関連タスク フォース名	
1	2007	Estimation number of PPH- responding to ACCESS PPH protocole	PPH TWG	電子メールベースでプロポーザル領域での産後出血患者数についての推定値を送付
2	2007	ACCESS/DFID CAC program/JICA project 合同の分娩インセンティブに対するコメント	なし	分娩インセンティブに対する懸念についてのコメント
3	2008	Proposal - Post partume care Misoprostol use (ACCESS)	PPH TWG	電子メールベースでコメント付け
4	2008	Post partum care package (UNICEF, ACCESS)	Newborn care TWG	電子メールベースでコメント付け
5	2008	Situation Analysis of the Newborn: Cambodia UNICEF Consultant 2008	Newborn care TWG	電子メールベースでコメント付け
6	2009	ASSESSMENT OF PERFORMANCE BASED BLOCK . GRANT TO HEALTH CENTRES DOCUMENTATION OF LESSONS LEARNT CAMBODIA MARCH 2009 Dr Sophie Biacabe	なし	電子メールベースでコメント付け
7	2009	Emergency Obstetric Neonatal Care Assessment (NRHP, UNFPA consultant Jenny)	MCH sub TWG	デザイン策定時に情報提供
8	2009	Maternal & Child Health in Cambodia —Current Situation & Promising Practices— June 2009	なし	電子メールベースでのコメント付け
9	2009	Status Report on Midwifery In-Service Training in Cambodia: Key Information for Decision Making, DRAFT July 2009	MCH sub TWG	電子メールベースとMCH sub TWGにおいてコメント付け

- 策定に関わった報告書 3 報告書、
- 当プロジェクトの報告書が引用された数 3 報告書

策定に関わった報告・雑誌等			
1	2007年	Health Messenger Newborn Care Issue 31, July 2007	英・クメール語
2	2009年3月1日	第一回 継続ケアの視点からみた妊産婦、新生児保健国際ワークショップ	日
3	2009年7月	Status Report on Midwifery In-Service Training in Cambodia: Key Information for Decision Making, DRAFT July 2009	英
当プロジェクトの報告等が引用されたレポート			説明
1	2008年	Situation Analysis of the Newborn: Cambodia UNICEF Consultant 2008	英 UNICEF が策定した新生児ケア現状報告書
2	2009年3月	ASSESSMENT OF PERFORMANCE BASED BLOCK . GRANT TO HEALTH CENTRES DOCUMENTATION OF LESSONS LEARNT CAMBODIA MARCH 2009 Dr Sophie Biacabe	英 GAVI アセスメントレポート (UNFPA が雇用したコンサルタント)
3	2009年7月	Status Report on Midwifery In-Service Training in Cambodia: Key Information for Decision Making, DRAFT July 2009	英 ACCESSが策定している助産師卒後研修の比較報告書

- NRHP 主催の全国の行政官を対象とした半期会合や母子保健シンポジウム、助産師フォーラム、国家妊産婦死亡オーディット委員会会議などにおいて、カウンターパートがプロジェクトの経験を発表 11 回

O/Pや専門家が発表したワークショップ、シンポジウム等									
主に対象者がカンボジア保健省スタッフであるもの									
No.	年月	会合名称	場所	議題・プレゼンテーション名	発表者	国籍	機関	規模	対象
1	2007年3月	MCH Symposium	NMCHC	Unmet need for major obstetric interventions in Cambodia	Uong Sokhan, (Matsui)	Kh	JICA	200名	母子保健行政官、病院 SBA
2	2007年8月	Results debriefing workshop	NMCHC	Facility based maternal death audit- results	Obara, Local consultant	Kh	JICA	10名	NMCHC臨床スタッフと managers
3	2007年12月	MDA National Level meeting	Sunway Hotel	Review of the current MDA & Sharing results - Facility Based Maternal Death & Severe Maternal Morbidity review	Obara	E	NRHP	20名	国レベルMDAメンバー、UNICEF
4	2008年3月	MCH Symposium	NMCHC	Experience and introduction of Facility-Based Maternal Death Review & Severe Maternal Morbidity (SMM) Review to improve quality of care at hospital	Kath Ly Sotha, (obara)	Kh	WHO	200名	全国病院SBA母子保健行政官
5	2008年12月	MDA National Level meeting	Siem Reap	Review - the current MDA program based on the MDA reports submitted to the National MDA committee & Recommendations for Province level MDA committees	Kath Ly Sotha, (obara)	Kh	NRHP	250名	全国母子保健行政官、保健局長
6				MDA in Kg Cham	Peang Hara	Kh			
7	2008年?	NRHP 半期会合	Siem Reap	Midwife supporting activities in Kg Cham	Peang Hara, Semon, Jean Mary, (Sekura)	Kh	NRHP	250名	全国母子保健行政官
8	2008年3月	MCH Symposium	NMCHC	Who can and How to support SBAs (particularly Health Center Midwives) in order to improve MCH services?	Kath Ly Sotha, Uong Sokhan, (obara)	Kh	UNFPA	200名	全国病院SBA母子保健行政官
9	2008年6月	Midwifery Forum	Phnom Penh Hotel	A day of midwife	Tung Rithavy (obara)	Kh	UNFPA/ NRHP	300名	母子保健行政官、保健局長、助産師、副首相、Council Ministers、UNFPAをはじめとする関係パートナー20団体
10				In-service midwife training in Cambodia	Kath Ly Sotha	Kh			
11	2008年8月	NRHP 半期会合	NMCHC	Introducing Midwife Alliance Team & feasible activities to support HC-MW at your areas (PHD/OD level)	Kath Ly Sotha, Uong Sokhan, (obara)	Kh	NRHP	250名	全国すべての州・行政区母子保健行政官

4.2 プロジェクトの経験を活かし SBA を対象とした NMCHC の研修内容等が変更・改訂される

- 既存の保健センター助産師研修→「助産師とコミュニティとの連携共有」 以前は、もともとは講義形式で、(地域のことを知らない国立母子保健センタースタッフが、 実態は知らないものの講義として教授する形態であった。今回の技術協力プロジェクト グループワーク 3 グループとし、実際に地域のことを知っており、困難な点や、工夫について、
- 研修の手技向上の評価法 → モデルを使用し改善した評価法を実施へ (2007年から、技能レベルの低い 新卒准助産師が卒業しだし、僻地の助産師不在である保健センターに配属された。モデルサイト地域に配属されたこれら助産師の技能が著しく低いことが分ったことから、既存の保健センター4週間コースではなく、8週間のコースを策定。この際、技能レベルを評価する方法として、モデルを使用した技能レベル評価法を実施しだした。)
- NMCHCスタッフの助言により、MCAT研修で実施している レファラルシステムについての講義を ⇒ 3年制助産師卒前教育へ入れることとなった
- 他事例については、小山内専門家が今回調査予定。

4.3 国家リプロダクティブヘルスプログラム（NRHP：National Reproductive Health Programme）と国家妊産婦死亡オーディットコミッティーにおいて、プロジェクトの経験を生かして作成された調査報告数が増加する（0→3）

- プロジェクトからの報告数は 3回（前ページ表参照）

- 当プロジェクトで 施設ベース MDA を実施、また、現行の NRP が全国で実施している MDA についての、進捗と課題を明らかとした。（州による進捗の違い、データ収集が質的ではなく数的で終わっており、症例ごとの詳細（時間、場所が不明）、州レベル MDA 会合での症例の分析が弱い）
コンボンチャム地域で実施されている MDA →MAT 研修のおかげで、データ収集、分析方法に改善みとめられる。アクションプラン策定に繋がるようになっている。 MDA 症例の分析についても、時間と場所が特定され、情報の質の改善が認められる。

- これらのまとめは、国際保健医療学会でのプレゼンあり。

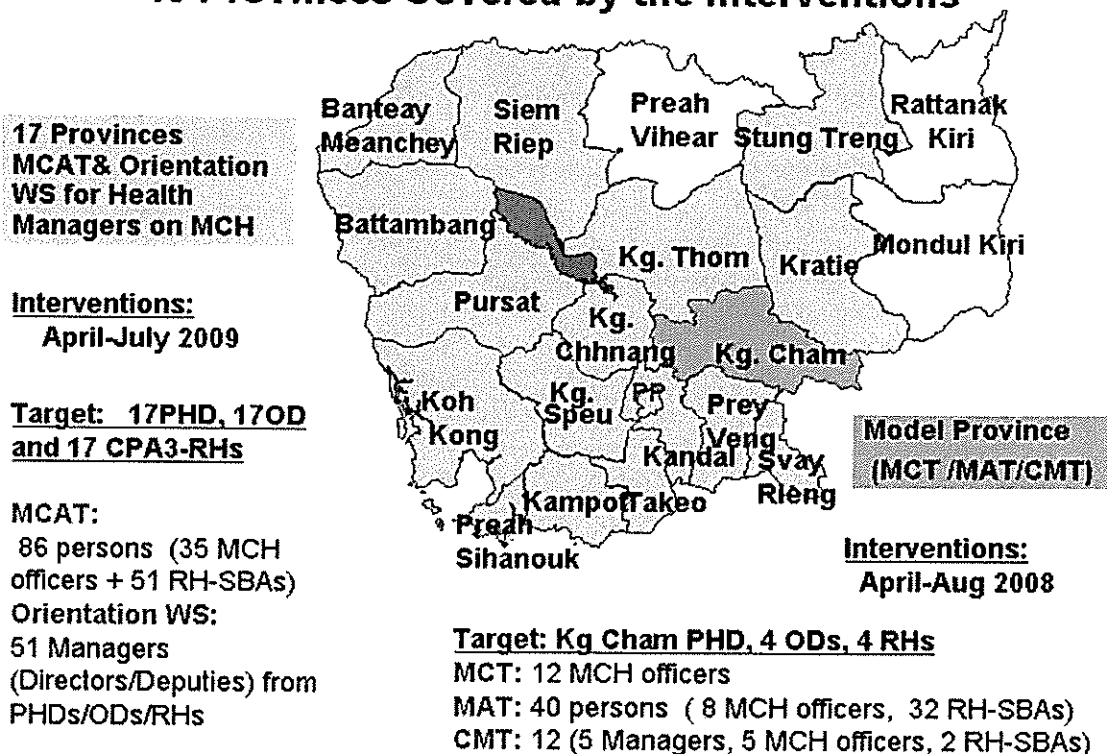
4-4 MCT, MAT 研修カリキュラムをもとに策定された新研修カリキュラムが NRHP に認定される

- Orientation workshop for health managers on MCH, MCAT 研修の 2 種類の全国対象の介入が策定された。 17 州を対象に実施した。
- NRHP と NMCHC 研修部とともに実施した。が、カリキュラム自体が NRHP に認定されたわけではなく、終了時評価中に位置づけ確認が必要

4-5 新研修カリキュラムの受講者数が増加する (0→68)

- orientation WS に参加したマネージャー 51 名
- MCAT に参加した州・行政区レベル母子保健行政官と CPA3 レファラル病院 SBA 86 名
 - ◇ (うち-> 助産師コーディネーター数 35 名)

18 Provinces Covered by the Interventions



4-6 プロジェクトで作成された各種ガイドラインが NMCHC に認定される

現在 策定中なのは、 SBA 支援ガイドライン、協働ガイドライン、MDA 関連提言集等⇒ 成果品リスト参照

広報促進活動等

- 67 団体 391 人のビジターを受け入れた (詳細別紙あり) (業務での面会を除く)
- 記事雑誌などに掲載された。カンボジア母子保健の Good practice の一つに選ばれた

記事・雑誌等 掲載リスト			
1	2008年6月10日	東京新聞 感染症に克つ(上) 東南アジアの現状(上) 医療研修500人地方に送り出す	日
2	2008年7月	JICA Monthly7月号 未来永劫に続く安全なお産を	日
3	2008年7月7日	国際保健協力の現状取材プレスツアー カンボジア・ベトナム訪問(2008年4月20-27日) 報告(財)日本国際交流センター・世界基金支援日本委員会事務局	日
4	2008年10月	For Every Life, We Have to save-JICA's response to Maternal, newborn, and child health	英
5	2009年1月	世界基金支援日本委員会 議員タスクフォース カンボジアベトナム訪問プログラム 視察報告 世界基金支援日本委員会(財) 日本国際交流センター	日
6	2009年	Maternal & Child Health in Cambodia —Current Situation & Promising Practices— June 2009	英

- 日本の学会、シンポジウム等で 発表した 12 題

日本における学会、シンポジウム、ワークショップ等の発表						
年次	開催日	名称	場所	発表タイトル	言語	発表者
1	2007年10月1日	第22回日本国際保健医療学会ワークショップ「途上国における母と子のための新生児保健医療」	大阪	母子保健プロジェクトにおける新生児ケア介入のありかた	日	小原 ひろみ
2	2008年10月1日	第49回日本産婦人科学会大会・第23回日本国際保健医療学会学術集会 合同大会ワークショップ【グローバル・ファンド、GAVI、ゲイツ財団との連携】—保健システム強化における国際資金メカニズムの現状と展望—	東京、IMCJ	国際資金メカニズムと技術協力の連携-カンボジアの事例	日	小原 ひろみ
3	2008年11月7日	日本での母子手帳会議に先立ち、国立母子保健センターでの報告会	東京IMCJ	Maternal Death Audit and the progress of the JICA project in Cambodia	英	Paeng Nam, long Nary
4	2008年3月1日	第一回 妊婦ケアの視点からみた妊産婦、新生児保健国際ワークショップ	東京、IMCJ	カンボジアにおける母子保健アプローチ—母子保健サービス向上のためには、助産師(助産者(SBA)対象の技術研修以外に何が必要か?—	日、仏	Keth Ly Sotha, Uong Sokha, 小原ひろみ
5	2008年3月2日	仏語圏アフリカ 妊婦ケア研修 JICA美国研修	東京、IMCJ	研修講師	日、仏	Keth Ly Sotha, Uong Sokha, 小原ひろみ
6	2008年7月3日	仏語圏アフリカ 妊婦ケア研修 JICA美国研修	東京、IMCJ	研修講師	日、仏	Keth Ly Sotha, 櫻井 幸枝, long Nary
7	2008年7月4日	第2回 妊婦ケアの視点からみた妊産婦、新生児保健国際ワークショップ(主催 国立国際医療センター国際医療協力局、独立行政法人 国際協力機構)	東京、IMCJ	カンボジアにおける母子保健の現状と、改善のための取組—助産師(SBA)のパフォーマンス向上のための保健行政担人材と母子保健担人材の連携・協力強化—(日、仏語)	日、仏	Keth Ly Sotha, 櫻井幸枝, long Nary
8	2008年8月6日	第24回日本国際保健医療学会 学術大会	仙台	カンボジア住居保健ボランティア活動の多様な援助団体と基金による相乗効果とその影響 GAVI保健システム強化支援の保健サービス、システム強化への影響に関する考察-カンボジアの事例	日	阿部真英子
9		同	同	同	日	松岡貞利
10		同	同	助産師による母子保健サービス向上のためには、助産師への技術研修以外の何が必要か? Besides technical training for midwives, what is needed to improve midwifery services?	英	櫻井幸枝 (代理 小原)
11		同	同	カンボジア国における妊産婦死亡率オーディットプログラム-レビュー結果と改善のための取組み-	日	小原ひろみ
12	2009年11月1日	第18回 国際医療協力シンポジウム The 18 th Symposium on the International Medical Cooperation * 母子保健をグローバルに考える	東京、IMCJ	カンボジアの15年の取組み(英語)	英	小原ひろみ

- カンボジア医療者勉強会で 44 名のカンボジアの保健医療分野で働く保健関係者にプレゼンテーションを行った

保健分野日本人向け			
1	2008年2月	第9回医療者勉強会	地方で保健に関わる人々の本音・コンボシヤム然の現況 保健センタースタッフの実情 保健センターと村のボランティアとのつながり
			小原 永井 松岡

6. プロジェクト成果品リスト

「成果品と報告書」リスト

ver. 28Sep 2009

水色背景：成果品 その他：報告書等		黒字：完成済み、青字策定中 赤字：今後策定予定		S:Summary		Remark
成果1, 2, 4	助産師支援体制関連	担当	想定するAudience	英語	言語	
1	MCT研修パッケージ	櫻井	NMCHC (TOTとNRHP)、JICA	V	V	S
2	MAT研修パッケージ	櫻井	NMCHC (TOTとNRHP)、JICA	V	V	S
3	MCAT研修 書類パッケージ(トレーナー用、トレーナー用)	櫻井	NMCHC (TOTとNRHP)	V	V	S
4	MCAT概要	櫻井	JICA			S
5	Orientation WS 書類パッケージ	小原	NMCHC (TOTとNRHP)	V	V	S
6	Orientation WS概要	小原	JICA			S
7	MCAT/Orientation WS 評価報告書	櫻井・小原	NMCHC (TOTとNRHP), MoH, 他 ドナー、JCCメンバー、JICA	V	V	既に数種類の調査あり 1)MCAT後1ヶ月段階での電話調査 2)全国の母子保健行政官対象の自記式質問紙調査 3)巡回指導時の観察による評価調査・モニタリング結果
8	SBA支援ガイドライン	櫻井・小原	NMCHC, PHD, OD, MOH, JCCメンバー、ドナー (全国のHealth Manager, 母子保健行政官、プログラムの、MoH関係者、ドナーに配布予定)	V	V	コンテンツは既にあり;巡回指導時の改善されたチェックリスト、OJT実施方法、概念図、ブレゼン、助産師支援方法の具体事例・オンライン、各々の関係者の役割
成果3 コミュニティ協働関連						
9	ODのためのコミュニティ協働支援行動ガイドライン (仮称)	松岡	特にOD, としてPHD, MoH, NMCHC, 各種プログラム (NCHP含む、ドナー (全国のOD, PHDのHealth Manager, 母子保健行政官、プログラムの、MoH関係者、ドナーへの配布予定)	V	V	コンテンツあり (阻害・促進因子、好事例・悪事例、関係者分析、概念図)
10	コミュニティ協働ベースライン (終了時直前時点での) 調査報告書	松岡	JICA			S

	Eng	Kh	J
成果4 助産師支援体制以外の部分			
11	MDA- review and recommendations for program improvement	小原	NMCHC NRHP、国レベルMDAI委員 会、ドナー、一部は、全国の母子保健行 政官、Health managerに幅広く配布予 定 ドナー、NMCHC、MoH、一部は、全 国の母子保健行政官、Health managerに 幅広く配布予定
12	プロジェクト活動サマリー報告書 or Paper	小原	
完成済みで部分的に上記成果品に紐付報告書			
13	ベースライン調査報告書	永井	CP、JICA、プロジェクト内専門家、一部他ド ナー、MoH
14	STUDY REPORT ON COMMUNITY ACTIVITY ANALYSIS	小笠原	
15	ODのためのコミュニティ協働支援行動 アクションリスト	阿部	モデルサイト行政関係者、Kg Cham PHD、NMCHC のC/P
完成済み報告書			
16	Facility based maternal death and severe morbidity report	小原+ロ カルコンサ	NMCHC
17	新生児ケアについての既存介入・既存研修 の分析	野田	NMCHC、CP、ドナー
18	インドネシア技術交換研修	C/P・小原 櫻井・松岡・ C/P	CP、JICA
19	ベトナム技術交換研修	小原+ロ カルコンサ	CP、JICA
20	Performance-based Financing of Maternal and Child Health Services: Financial and Behavioral Impacts at the Field Level in	C/P・村上・ 小原、松岡・ 永井	カンボジアの援助団体、MoH、NMCHC のプログラム、GAVI 本部
21	カンボジアにおける人材開発システム Evaluation of training courses	藤田 小原+ロ カルコンサ	CP、JICA、MoH、ドナー
22	National Maternal and Child Health Center - Feb 2007	カルコンサ ル	NMCHC、ドナー、全国の母子保健行政官と 関係調査時の報告書をプロジェクト内の大型ワー クショップ時に配布

7. プロジェクト来訪者・報告発表リスト

来訪者リスト JICAカンボジア 地域における母子保健サービス向上プロジェクト

(プロジェクト開始2007年1月より、2009年9月までの2年8ヶ月)

* 来訪者数からはJICAカンボジア事務所所員らを除く

No	日付	訪問団体名、訪問者名	人数*
1	2007年2月20日	JICA保健医療人材育成プロジェクト 中間評価団 (JICA人間開発部第3グループ長他)、国立国際医療センター国際医療協力局 派遣協力第一課課長 建野正毅 (厚生労働省 委託研究「17指1海外拠点を活用した共同研究と人材養成に関するパイロットスタディ」)	3
2	2007年3月4日-15日	国立国際医療センター 国際医療協力局看護師 土井正彦 (厚生労働省 委託研究「18公6開発途上で実施可能な母子保健の継続ケアシステムの構築に関する研究」)	1
3	2007年5月3日	国立国際医療センター国際医療協力局 派遣協力第二課課長 仲佐保	1
4	2007年5月30日	特定非営利活動法人 TICO(便宜供与依頼あり)	2
5	2007年6月5日	地元政府系テレビ局TVKによるプロジェクト活動についての取材	3
6	2007年6月8日	JICA金子理事、JICA本部地域部アジア一部管理チーム職員、JICA本部地域部カンボジア担当、外務省ODAモニタリング予備調査、JICAカンボジア事務所スタッフ4名	4
7	2007年8月8日	NGO People Hope Japan 中田さん 石関さん プロジェクトと国立母子保健センター見学	2
8	2007年8月20日	民間ODAモニター (主に教員と高校生) 大使館とJICAからの依頼	20
9	2007年8月20日	NGOシェア スタディーツアー、引率 NGOシェア 佐藤さん、林さん	20
10	2007年8月22日	JICA 四国支部 佐々木四国支部長、深田JICA四国支部、原口企画調整員 (便宜供与依頼)	2
11	2007年8月31日	国立国際医療センター国際医療協力局 派遣協力第二課課長 仲佐保、現 介護老人保健施設デンマークイン新宿(元カンボジア母子保健プロジェクトフェーズ1リーダー)山田多佳子、現 初台リハビリテーション病院病院長(元カンボジア保健省アドバイザー)木下枚子	3
12	2007年9月10日	JICAタイHIV/AIDS RCCプロジェクト 終了時評価 小川正純次長、竹内清佳所員(JICAタイ事務所)、牧野千明調整員(RCCプロジェクト)、Wiral Kamsrichan(AIHD次長)、他	6
13	2007年9月11日	大阪大谷大学、立命館大学 学生、引率 長須政司教授、岡島克樹講師 (便宜供与依頼)	22
14	2007年9月6日-25日	江口えり (UCLA大学院生、国際保健医療学会学生会紹介 マッチング システムによるプロジェクトインターン実習)	1
15	2007年9月12日-16日	大岐真央子(福島県立南会津病院、外科医)、渡部幸(福島県只見町立国保朝日診療所、看護師)	2
16	2007年9月25日	小西伸幸らチーム長JICA本部アジア一部 第2グループ 東南アジア第三チーム(カンボジア、ベトナム)チーム長	2
17	2007年10月30日	名古屋大学医学部学生、引率 明石秀親 准教授 (便宜供与依頼)	4
18	2007年11月1日	京都府立医大看護学部4年 藤岡亜樹 (便宜供与依頼)	1
19	2007年11月7日	マレーシアJARCOMミッション カンボジアの助産師等卒前教育の教員に対する第三国研修立案に際しての情報収集	4
20	2008年1月15日	鈴木博専門家 (カンボジア経済財務省) プロジェクトと国立母子保健センター見学	1
21	2008年1月21日	岡村昭夫 JICA本部アジア一部 第2グループ東南アジア第三チーム(カンボジア、ベトナム)チーム長 (JICAカンボジア事務所所員が母子保健センター内を案内)	2
22	2008年1月22日	在外医療相談調査団 (布田伸一医師、湯河いくみ医師、野々部陽子看護師以上、JICA本部)、野澤健康管理員(JICAカンボジア事務所) (JICAカンボジア事務所 野澤健康管理員からの依頼)	4
23	2008年2月7日	GAVI-JICA-USAID ミッションチーム Mr Craig Burgess (Senior programme officer, technical and policy office, GAVI alliance), Mr Dirk sellers (Senior Director, GAVI Alliance), Maria Francisco (senior Technical advisor, Child Health, Office of health, infectious diseases and nutrition, USAID) Mr Eichi Shimizu (Program officer, external relations office, GAVI) 杉下智彦 国際協力専門員(人間開発部課題アドバイザー)、佐藤祥子企画調査員	5

24	2008年3月3日-22日	国立国際医療センター 小児科副看護師長 塩川加緒里(国立母子保健センター、国立国際医療センター 交換プログラム)	1
25	2008年3月14日	鳥取大学医学部国際保健友の会 医学生看護学生(便宜供与依頼あり)	6
26	2008年3月17日	滋賀大学医学部 国際保健地域保健サークル	8
27	2008年3月18日	財務省主計局 外務経済協力第1係担当 西村明彦係長、榎本隆主計官補佐、外務省国際協力局 無償資金・技術協力課 板垣克巳課長補佐、事務所長	3
28	2008年3月21-23日	国立国際医療センター国際医療協力局 遠藤弘良局長 建野正毅 派遣協力課第二課長 (国内支援委員会による運営指導調査)	2
29	2008年4月23日	国際保健協力の現状取材プレスツアー カンボジア・ベトナム訪問 日本の新聞各社代表6名(産経、読売、朝日、毎日、日経、東京)、日本国際交流センター2名	8
30	2008年5月2日	日本青年会議所医療部会(部会長 田中 勝寛、運営専務 中村太一、45周年特別会議副議長 西本 誠、看護師1名、薬剤師1名)、他 クメール語日本語通訳佐藤祥子企画調査員 (便宜供与依頼あり)	5
31	2008年7月23日	世界基金支援日本委員会 議員タスクフォース 逢沢一郎衆議院議員(自民党)[団長]、橋本岳衆議院議員(自民党)、松本純衆議院議員(自民党)、山口壮衆議院議員(民主党)、谷合正明参議院議員(公明党)、岡本みつひる衆議院議員(民主党)、三谷正史(逢沢一郎議員秘書) 山本正(財)日本国際交流センター 理事長、世界基金支援日本委員会 ディレクター、坊野成寛(財)日本国際交流センター プログラムオフィサー、Katja Roll 世界基金 キャンペーン・オフィサー、丸山公使、小林書記官、田村調査員 (在カンボジア日本大使館)	10
32	2008年7月29日	木村仁 外務副大臣(団長)、矢吹公敏 弁護士(副団長) 三宅浩史 外務副大臣秘書官、 吉武将吾 南東アジア第1課主席事務官、 後藤文男 南東アジア第1課課長補佐、 篠原大使、米澤書記官、田村調査員 (在カンボジア日本大使館)	8
33	2008年8月11日	日本赤十字看護大学 大学院生7名、教員2名 (便宜供与依頼あり)	9
34	2008年8月19日	三重大学医学部学生	2
35	2008年8月21日	九州国際看護大学(喜多学長)、学生、大学院生、教員(便宜供与依頼あり)、野田沙綾 (NGOデスクコーディネーター)	50
36	2008年8月25日	九州国際看護大学(喜多学長ら50名) 遠田WHOアドバイザーの講義時に、講義室の貸し出し、野田沙綾 (NGOデスクコーディネーター)	
37	2008年8月25日	NGOシェア スタディーツアー	17
38	2008年9月7日-23日	国際保健医療学会学生部会 マッチング 若尾聡 (自治医科大学6年)	1
39	2008年9月10日	大阪大谷大学 学生13名、引率教官1名(岡島克樹 先生 元JICAカンボジア事務所企画調査員) (便宜供与依頼あり)	14
40	2008年9月12日	中村安秀 大阪大学教授、浦 みどり(カンボジアにおける母子手帳パイロットプロジェクト 担当者)	2
41	2008年10月10日	馬場健在カンボジア日本国大使館 参事官兼医務官、横山麻衣 日本大使館 草の根無償保健担当	2
42	2008年10月22日	高橋謙造 厚生労働省 大臣官房国際課 国際機関専門官、藤井まい WHO Reproductive health department、永井周子 大阪周産期センター	3
43	2008年11月3-7日	青山温子 名古屋大学教授 プロジェクトの長期インパクトに関する調査 (便宜供与依頼あり)	1
44	2008年11月6日	施設外での面会 GAVI Dr Julian Lob-Levyt (Executive Secretary) 、Dr Craig Burgess(Senior Program Officer)ら、寺門所員、青山温子教授 当プロジェクトとGAVIの連携について説明	4
45	2009年12月16日	ODAテレビ取材 知花くらの地球サポーター (JICAカンボジア事務所からの依頼)	7
46	2008年12月24日	三重大学 医学部学生4名	4

47	2009年1月21-28日	橋本麻由美、Ms Fia 厚生労働省委託研究	2
48	2009年2月19日	菊池 JICA地域部部长、渋谷所員、佐藤企画調査員	3
49	2009年2月24日	弓削田ゆうこ(短期専門家 Primary Emergency Care Project, JICA/TICO パートナーシップスキーム、香川Second HandというNGOから派遣)、大村一弘(短期専門家 Primary Emergency Care Project, JICA/TICO パートナーシップスキーム)、長谷川彩未、武内三恵 (Japan Heart カンボジア駐在)、長嶺 由衣子(長崎大学医学部6年)	5
50	2009年2月26日	新井 泉 JICA理事 作道 俊介 JICA地域部、小林次長、佐藤企画調査員	3
51	2009年3月2日	中川香須美 JICA専門家(女性省)	1
52	2009年3月6日	日赤看護大学 大学生2名(二階堂 紀子、半田祥子)	2
53	2009年3月6日	小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ / JHP 学校をつくる会 スタディツアー 17名	17
54	2009年3月11日	山梨大学医学部海外医学交流研究会 医学部学生 11名	11
55	2009年3月30日-4月3日	JICAカンボジア母子保健プロジェクトフェーズ2事後評価	2
56	2009年4月8日	明石秀親 国立国際医療センター 厚生労働省委託研究	1
57	2009年4月27日-5月3日	田中 裕子 三重大学医学部6年 インターン	1
58	2009年5月7日	国会議員 佐藤正久参議院議員、牧野たかお 他、自民党総研 9名(合計11名)JICA地域部、小林次長、佐藤企画調査員、大使館若杉さん	11
59	2009年8月7日	松ヶ丘助産院 院長 宋 祥子、宋 香里	2
60	2009年8月10日	北原脳神経外科 日本医療開発機構 北原理事(大使からの依頼) 医療法人社団 北原脳神経外科病院 経営企画室 福池 千尋、大使館 田村さん、JICAカンボジア事務所 佐々木さん	3
61	2009年8月3日-14日	橋本麻由美 国立国際医療センター国際医療協力局 派遣協力課 厚生労働省委託研究 プロジェクトの長期インパクト調査、分娩の質的研究	1
62	2009年8月24日	NGO シェア スタディーツアー	21
63	2009年8月24日-9月5日	鈴木里美 岐阜県立看護大学教員 厚生労働省委託研究(プロジェクトの長期インパクト調査、看護管理に関する調査)	1
64	2009年9月2日	JICA 加山 健康管理員	0
65	2009年9月9日	NGO PHJ(People Hope Japan) スタディーツアー	6
66	2009年9月15日	大阪大谷大学 スタディーツアー JICAカンボジア事務所NGOデスク、小川さん、水沢さん	14
67	2009年9月30日	JICAカンボジア事務所所長、佐々木企画調査員	0

総数
他

マダガスカル 技術交換受け入れ
1回目 アフガン第三国研修受け入れ
2回目 アフガン第三国研修受け入れ

389

記事・雑誌等掲載リスト

- | | | | |
|---|------------|--|---|
| 1 | 2008年6月10日 | 東京新聞 感染症に克つ(上) 東南アジアの現状(上) 医療研修500人地方に送り出す | 日 |
| 2 | 2008年7月 | JICA Monthly7月号 未来永劫に続く安全なお産を | 日 |
| 3 | 2008年7月7日 | 国際保健協力の現状取材プレスツアー カンボジア・ベトナム訪問(2008年4月20-27日) 報告(財)日本国際交流センター・世界基金支援日本委員会 For Every Life, We Have to save-JICA's response to Maternal, newborn, and child health | 日 |
| 4 | 2008年10月 | 世界基金支援日本委員会 議員タスクフォース カンボジアベトナム訪問ブログラム 視察報告 世界基金支援日本委員会 (財) 日本国際交流センター | 日 |
| 5 | 2009年1月 | Maternal & Child Health in Cambodia —Current Situation & Promising Practices— June 2009 | 英 |
| 6 | 2009年 | | 英 |

策定に関わった報告・雑誌等

- | | | | |
|---|-----------|--|---------|
| 1 | 2007年 | Health Messenger Newborn Care Issue 31, July 2007 | 英・クメール語 |
| 2 | 2009年3月1日 | 第一回 継続ケアの視点からみた妊産婦、新生児保健国際ワークショップ | 日 |
| 3 | 2009年7月 | Status Report on Midwifery In-Service Training in Cambodia: Key Information for Decision Making, DRAFT July 2009 | 英 |

当プロジェクトの報告等が引用されたレポート

- | | | | | |
|---|---------|---|---|--------------------------------------|
| 1 | 2008年 | Situation Analysis of the Newborn: Cambodia UNICEF Consultant 2008 | 英 | 説明
UNICEF が策定した新生児ケア現状報告書 |
| 2 | 2009年3月 | ASSESSMENT OF PERFORMANCE BASED BLOCK GRANT TO HEALTH CENTRES DOCUMENTATION OF LESSONS LEARNT CAMBODIA MARCH 2009 Dr Sophie Blacabe | 英 | GAVI アセスメントレポート (UNFPA が雇用したコンサルタント) |
| 3 | 2009年7月 | Status Report on Midwifery In-Service Training in Cambodia: Key Information for Decision Making, DRAFT July 2009 | 英 | ACCESSが策定している助産師卒後研修の比較報告 |

対象者がプログラムマネージャーと援助関係者であるもの（主として母子保健分野ドナー調整会合）

MCH SubTWG における発表			
開催日	プレゼンテーション内容	Presenter	Reports and handouts distributed
1 22-May-07	Response to ACCESSPPH proposal Points that should be considered on "Community based self-administered MSPL use by women"	obara	Brief summary - Points should be considered
2 22-Jun-07	Project update 1. Progress report of May 2. Planed activities (June- July 07)	Handout distributio n only	Project update
3 17-Aug-07	Project update 1. Results of the questionnaire survey: PHD & OD MCH staff 2. Analysis of community collaboration 3. Distribution - Khmer summary JICA development study final report	obara	Brief report- questionnaire survey MCH officers Community collaboration Development study report Khmer
4 24-Jan-08	Report about SBA incentives A Proposal - Fact finding visit on the SBA incentive Three category of birth attendants in Cambodia Results- knowledge and skill level of non health staff (Results of Dr Ishihara's survey)		Brief report - Knowledge and skill level of non-health staff
5 28Mar 2008	Project update Who can be the supporter for HC MW ? 1. Outline of planned training courses (pilot) 2. Sharing experience- Midwifery Congress on MCH at Province level 3. Dr Nagai's recommendations (Long-term Expert on Community Health)	obara	Project update Dr Nagai's report
6 11 July08	Project update 1. Sharing experience- MAT training course (Midwife Alliance Team training) 2. Report- EmOC equipment provision 3. Brief report- What is happening MCH and continuum of care in a OD under the GAVI HSS ?	Dr Keth Ly Sotha & Obara	Presentation handout
7 30-Apr-09	Project update 1. To share resources about swine flu "Pandemic influenza alert phase 5" 2. Planned Project Interventions -Orientation workshop for health managers on MCH -Midwife Coordinator and Alliance Team training (MCAT course) 3. Performance-based financing of maternal and child health services: Financial and behavioral impacts at the field level in Kompong Cham Province	obara	WHO documents on Swine flu Project update Performance based incentive report
8 14-Jul-09	Project Update: Improving midwife supporting activities by health system strengthening approach	Handout distributio n only	Project update
その他、High level midwifery task force においてmulti year plan作成支援、RMNCHTFIにおいて 保健省Annual Health Congress向けのプレゼンテーション策定 TWGH におけるGAVI プロポーザルに対して、根拠となるフィールドデータ提供を行った			

その他: 援助団体と関連する業務: コメント付けや デザイン策定・情報提供への貢献			関連タスク フォース名	
1	2007	Estimation number of PPH - responding to ACCESS PPH protocole	PPH TWG	電子メールベースでプロポーザル領域での産後出血患者数についての推定値を送付
2	2007	ACCESS/DFID CAC program/JICA project 合同の分娩インセンティブに対するコメント	なし	分娩インセンティブに対する懸念についてのコメント
3	2008	Proposal - Post partume care Misoprostol use	PPH	電子メールベースでコメント付け
4	2008	Post partum care package (UNICEF, ACCESS)	Newborn care TWG	電子メールベースでコメント付け
5	2008	Situation Analysis of the Newborn: Cambodia UNICEF Consultant 2008	Newborn care TWG	電子メールベースでコメント付け
6	2009	ASSESSMENT OF PERFORMANCE BASED BLOCK , GRANT TO HEALTH CENTRES DOCUMENTATION OF LESSONS LEARNT GAMBODIA MARCH 2009 Dr Sophie Biacabe	なし	電子メールベースでコメント付け
7	2009	Emergency Obstetric Neonatal Care Assessment (NRHP, UNFPA consultant Jenny)	MCH sub TWG	デザイン策定時に情報提供
8	2009	Maternal & Child Health in Cambodia —Current Situation & Promising Practices- June 2009	なし	電子メールベースでのコメント付け
9	2009	Status Report on Midwifery In-Service Training in Cambodia: Key Information for Decision Making, DRAFT July 2009	MCH sub TWG	電子メールベースとMCH sub TWGにおいてコメント付け

C/Pや専門家が発表したワークショップ、シンポジウム等

主に対象者がカンボジア保健省スタッフであるもの

基金名称		場所		議題・プレゼンテーション名		*カック・ブレゼン作成 Presenter *		予算	規模	対象
1	2007年3月 MCH Symposium	NMCHC		Unmet need for major obstetric interventions in Cambodia	Kh	Uong Sokhan, (Matsui)	JICA	200名	母子保健行政官、病院SBA	
2	2007年8月 Results debriefing workshop	NMCHC		Facility based maternal death audit- results	E, Kh	Obara, Local consultant	JICA	10名	NMCHC臨床スタッフとmanagers	
3	2007年12月 MDA National Level meeting	Sunway Hotel		Review of the current MDA - & -Sharing results - Facility Based Maternal Death & Severe Maternal Morbidity review	E	Obara	NRHP	20名	国レベルMDAメンバー、UNICEF	
4	2008年3月 MCH Symposium	NMCHC		Experience and introduction of Facility-Based Maternal Death Review & Severe Maternal Morbidity (SMM) Review to improve quality of care at hospital	Kh	Keth Ly Sotha, (obara)	WHO	200名	全国病院SBA、母子保健行政官	
5	2008年12月 MDA National Level meeting	Siem Reap		Review - the current MDA program based on the MDA reports submitted to the National MDA committee & Recommendations for Province level MDA	Kh	Keth Ly Sotha, (obara)	NRHP	250名	全国母子保健行政官、州保健局長	
6				MDA in Kg Cham	Kh	Peang Nara				
7	2008年? NRHP 半期会	Siem Reap		Midwife supporting activities in Kg Cham	Kh	Peang Nara, Samon, Iegn Nary,	NRHP	250名	全国母子保健行政官	
8	2008年3月 MCH Symposium	NMCHC		Who can and How to support SBAs (particularly Health Center Midwives) - in order to improve MCH services?	Kh	Keth Ly Sotha, Uong Sokhan, (obara)	UNFPA	200名	全国病院SBA、母子保健行政官	
9	2008年6月 Midwifery Forum	Phnom Penh Hotel		A day of midwife	Kh	Tung Rathavy (obara)	UNFPA/ NRHP	300名	母子保健行政官、州保健局長、助産師、副首相、UNFPAをはじめとする開発パートナー20団体	
10				In-service midwife training in Cambodia	Kh	Keth Ly Sotha				
11	2009年8月 NRHP 半期会	NMCHC		Introducing Midwife Alliance Team & feasible activities to support HC-MMWs at your areas (PHD/OD level)	Kh	Keth Ly Sotha, Uong Sokhan, (obara)	NRHP	250名	全国すべての州・行政区母子保健行政官	

保健分野日本人向け

第9回医薬者塾
強会

地方で保健に関わる人々の本音・コンセンサス
チャム州の例
保健センタースタッフの実情
保健センターと村のボランティアとのつながり

小原 永井 松岡

日本における学会、シンポジウム、ワークショップ等での発表

時期	名称	場所	発表タイトル	言語	発表者
1	2007年10月1日 第22回日本国際保健医療学会 ワークショップ「途上国における母と子のための新生児保健医療」	大阪	母子保健プロジェクトにおける 新生児ケア介入のありかた	日	小原 ひろみ
2	2008年10月1日 第49回日本産婦人科学会・第23回日本国際保健医療学会学術集會 合同大会 ワークショップ【グローバル・ファンド、GAVI、ゲイツ財団との連携】－保健システム強化における国際資金メカニズムの現状と展望－	東京、IMCJ	国際資金メカニズムと技術協力の連携－カンボジアの事例	日	小原 ひろみ
3	2008年11月7日 日本での母子手帳会報に先立ち、国立母子保健センターでの報告会	東京IMCJ	Maternal Death Audit and the progress of the JICA project in Cambodia	英	Peang Nara, leng Nary
4	2009年3月1日 第一回 継続ケアの視点からみた妊産婦、新生児保健国際ワークショップ	東京、IMCJ	カンボジアにおける母子保健アプローチ － 母子保健サービス向上のためには、熟練助産者(SBA)対象の技術研修以外に何が必要か？－	日、仏	Keth Ly Sotha, Uong Sokha, 小原 ひろみ
5	2009年3月2日 仏語圏アフリカ 継続ケア研修 JICA集団研修	東京、IMCJ	研修講師	日、仏	Keth Ly Sotha, Uong Sokha, 小原 ひろみ
6	2009年7月3日 仏語圏アフリカ 継続ケア研修 JICA集団研修	東京、IMCJ	研修講師	日、仏	Keth Ly Sotha, 櫻井 幸枝, leng Nary
7	2009年7月4日 第2回 継続ケアの視点からみた妊産婦、新生児保健国際ワークショップ(主催 国立国際医療センター 国際医療協力局、独立行政法人 国際協力機構)	東京、IMCJ	カンボジアにおける母子保健の状況と、改善のための取組 - 熟練助産者SBAsのパフォーマンス向上のための保健行政側人材と母子保健臨床人材の連携・協力強化-(日、仏語)	日、仏	Keth Ly Sotha, 櫻井幸枝, leng Nary
8	2009年8月5日 第24回日本国際保健医療学会 学術大会	仙台	カンボジア住民保健ボランティア活動の多様な援助団体と基金による活性化とそのGAVI保健システム強化支援の保健サービス、システム強化への影響に関する考察-カンボジアの事例	日	阿部 貴美子
9	同	同	助産師による母子保健サービス向上のためには、助産師への技能研修以外の何が必要か？ Besides technical training for midwives, what is needed to improve midwifery services?	日	松岡 貞利
10	同	同	カンボジア国における妊産婦死亡オーデイットプログラム-レビュー結果と改善のための取り組み-	英	櫻井幸枝 (代理) 小原)
11	同	同		日	小原ひろみ
12	2009年11月1日 第18回 国際医療協カシンポジウム The 18 th Symposium on the International Medical Cooperation** 母子保健をグローバルに考える	東京、IMCJ	カンボジアの15年の取り組み(英語)	英	小原ひろみ